

岡崎市議会議長 様

支出番号

会派名

民政クラブ

代表者名

加藤学

下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動報告書

令和 6年 9月 9日提出

活動年月日	令和 6年 8月 5日 (月)	
氏名	井村伸幸、加藤嘉哉	
用務先 及び 内 容	1 8月 5日	用務先 京都府福知山市 内 容 市立福知山市民病院内の病児保育所について
	2 月 日	用務先 内 容
	3 月 日	用務先 内 容
	4 月 日	用務先 内 容
備 考		

● 政務活動視察調査報告書 (No.政務-533)

委員会・会派名	(民政クラブ) 井村伸幸・加藤嘉哉	報告者：加藤嘉哉																																				
視察日時	令和6年8月5日（月）13:30～15:00																																					
視察先・概要	<p>京都府福知山市 • 人口 74,652人 (R6年7月末現在) • 世帯数 36,864世帯 • 面積 552.54km²</p> <p>由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、昭和12年4月、京都府で2番目の市として誕生。それ以後合併を繰り返し、平成18年1月1日に福知山市・三和町・夜久野町・大江町の1市3町が合併し、新しい「福知山市」がスタート。京都市から60km、大阪市から70kmの距離にあり、国道9号線をはじめとする多くの国道や舞鶴若狭自動車道、JR山陰本線、福知山線、及び京都丹後鉄道宮福線などが通る北近畿の交通の要衝となっている。</p>																																					
視察内容	市立福知山市民病院内の病児保育所について																																					
選定理由（目的）	核家族化が進み、共働き世帯が増える中、病児・病後児保育所の需要は高まっており、民間病院併設の病児保育施設だけでなく市民病院内に病児保育施設を開設している福知山市を調査。																																					
岡崎市の現状と課題	岡崎市には2019年9月より民間の小児科医院の協力により、市内初の病児保育室が開設されたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などから、現在も1施設のみ（病後児保育施設は3施設）。																																					
視察概要及び評価	<p>1. 福知山市の病児・病後児保育施設開設の背景</p> <ul style="list-style-type: none"> 病気等により集団保育が困難な児童を、保護者が勤務等により児童を見ることが困難である場合において、医療機関併設の病児保育室で預かり、保護者の子育てと就労等の両立の支援を行っている。 病気の児童も安心して預けられる施設の必要性や保育ニーズが多様化し、一時的に病児保育を提供することにより、保護者の子育てと就労の両立の支援を行っている。 <p>2. 福知山市の病児保育所の利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立福知山市民病院病児保育所 (H27.9開設) <table> <tr><td>R6年度</td><td>114名</td><td>R5年度</td><td>354名</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>292名</td><td>R3年度</td><td>130名</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>102名</td><td>R1年度</td><td>255名</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>176名</td><td>H29年度</td><td>219名</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>207名</td><td>H27年度</td><td>83名</td></tr> </table> ※ 定員6人 6か月児～小学校3年生まで 京都ルネスクリニック病児保育所 (H30.12開設) <table> <tr><td>R6年度</td><td>171名</td><td>R5年度</td><td>534名</td></tr> <tr><td>R4年度</td><td>270名</td><td>R3年度</td><td>184名</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>142名</td><td>R1年度</td><td>264名</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>52名</td><td></td><td></td></tr> </table> ※ 定員5人 6か月児～小学校6年生まで <p>3. 病児保育所の利用条件等</p> <p>【利用可能日時】月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前7時30分～午後6時</p> <p>【対象児童】○保護者の就労等のために家族で保育等ができない ○病気または病気の回復期にあり、医療機関による入院治療の必</p>		R6年度	114名	R5年度	354名	R4年度	292名	R3年度	130名	R2年度	102名	R1年度	255名	H30年度	176名	H29年度	219名	H28年度	207名	H27年度	83名	R6年度	171名	R5年度	534名	R4年度	270名	R3年度	184名	R2年度	142名	R1年度	264名	H30年度	52名		
R6年度	114名	R5年度	354名																																			
R4年度	292名	R3年度	130名																																			
R2年度	102名	R1年度	255名																																			
H30年度	176名	H29年度	219名																																			
H28年度	207名	H27年度	83名																																			
R6年度	171名	R5年度	534名																																			
R4年度	270名	R3年度	184名																																			
R2年度	142名	R1年度	264名																																			
H30年度	52名																																					

	<p>要はないが集団での保育等が困難で当面症状の急変が認められない 【預かることのできない児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症（隔離期間 10 日含）・水ぼうそう・はしか ・流行性角結膜炎・嘔吐が治まらない胃腸炎などの感染力の強い病気や精密検査が必要な状態であるとき （インフルエンザは利用可） <p>【利用料金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日につき 1人あたり 2,500 円（5 時間以内なら 1,500 円） （診察料・薬代は別途必要） <p>【病児保育利用助成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：生活保護世帯の方・・・無料 : 市民税非課税世帯の方・・・半額 <p>4. 取組みに対する Q&A（一部抜粋）</p> <p>Q：市民病院内に病児・病後児保育室を導入した経緯は？ A：市民病院職員からの要望が多く、また行政としても共働き世帯の支援という観点からも病児・病後児保育室が必要との認識があったことから導入をした。</p> <p>Q：保育所内の職員の人数体制は？ A：全部で、保育士 4 名・看護師 2 名体制をとっており、午前中、保育士 2 名・看護師 1 名、午後保育士 2 名・看護師 1 名にて対応している。</p> <p>Q：平成 27 年より行われている事業だが、利用市民の反応は？ A：どうしても会社等を休めない時に、子どもを預けることができ非常に有難いとの声を頂いている。できたら、市民病院でも小学 6 年生まで預けられるようにして欲しいとの要望はある。</p> <p>Q：病児・病後児保育室の導入に際して苦労した点は？ A：病児・病後児保育室の施設整備、事務執行の分担、人件費負担、建築基準法に基づく用途変更手続き等。</p> <p>Q：市民病院職員向けの院内保育室はどうなっているのか？ A：敷地内に設置。定員 30 名（3 歳児まで）保育士 7 名・調理師 1 名にて運営。</p> <p>Q：現在の課題は？ A：場所が狭い事と、対象年齢の拡大についての検討が必要。</p>
本市への反映 (意見・課題など)	<p>井村：福知山市民病院で働く職員から開設要望があり、病院敷地内にある医師・看護師・職員の子どものための院内保育所内に病児保育のためのスペース確保を検討したが、病児保育に必要な専用スペースを確保することが困難であったとのこと。そのため、病院内的一角に、病室を改修し、病児保育室を設置することとなったとのことだった。他の入院患者もいる病室の前を通って罹患した子どもを連れていく動線に課題は感じられたものの、保育室からの眺めはよく、罹患し、平時以上に親と離れたくない不安を感じている子どもたちが、その不安を紛らわすことにもつながっていると保育士の方からお聞きすることができた。本事業は平成 27 年度から開始した事業であり、コロナ禍で若干利用者数は減少したものの、昨年度も 350 名以上の利用者があり、再利用者も多いとのことからも、働きながら子育てをする福知山市民にとって必要な施設であり、事業でもあると考える。また、公立病院内にありながら、数週間前に訪問させていただいた、あま市同様、本事業の所管が市の子育てを支援する部局であることから、保護者にとって、子育て関係の申請や相談で市役所など行政機関を訪れた際に、病児保育の存在を知ることができ、子育てにおける安心の一つにもつながっていくものと考える。岡崎市民病院も現在の高隆寺町に移転して 20 年以上が過ぎ、病棟の増設なども行われているものの、施設の老朽化は否めないことから、新たな節目を迎えた際には、保育を受ける子どもたちの心のケアも含め託児所内や病院内への病児保育所の開設も視野に入れていただくよう提案していきたい。</p>

加藤：福知山市民病院にて病児・病後児保育が開設された経緯は、市民病院で働く職員からの要望があり、また行政としても共働き世帯への支援という観点からも開設に至ったとの事。病院内に病児・病後児保育室を開設する場所の確保については、大変苦労されたそうではあるが、病室を改修することで専用スペースとして病児保育室を設置された。現地を見させてもらったが、入院患者がいる病室を通り、フロアの一番奥にある病児保育室に行く動線が少し気にはなったが、保育室からの眺望は大変良く、子どもたちも景色を見るのを楽しみにしているとのことです。平成 27 年度からこの事業を開始し、コロナ禍で利用者が一時的に減少したものの、令和 5 年度は 350 名を超える利用者がいる状況であり、子育て世帯にとっては非常に有難い施設であると感じる。本市においても、設置スペース等の課題が多いことは理解をするところではあるが、今後、子育て世帯が安心して共働きができる環境整備として市民病院内に病児保育所の開設を検討頂くことを提案していく。

